

令和元年11月15日

各位

山形市野草園

山形市大字神尾 832-3

電話 023-634-4120

## 山形市野草園からのお知らせ



トチノキの冬芽



キタコブシの冬芽



ホオノキの冬芽



オオカメノキの冬芽

## おもしろ冬芽を探そう

11月後半、紅葉が終わり植物は冬支度です。寒い冬を乗り越えるのと同時に、来春暖かくなった時にすぐに花を咲かせたり葉を出したりできるように、冬芽を付ける樹木をたくさん見ることが出来ます。特徴的な冬芽を紹介しましょう。

- ①トチノキの冬芽（光沢のある粘液で寒さを防ぎます。ぴかぴか光るトチノキの冬芽が青空に映えます。）
- ②キタコブシの冬芽（毛皮で包まれたような冬芽です。花芽を寒さから毛皮で守っているようです。）
- ③ホオノキの冬芽（最大級の冬芽。子どもの指くらいの大きさです。大きな芽鱗は革ジャンのようです。）
- ④オオカメノキの冬芽（バンザイをしている子ども？ウサギ？思わず笑ってしまうような面白い形です。）

他にも個性的な冬芽がたくさん見られます。樹木の葉がすっかり落ちて本格的な冬を前にした野草園で、ぜひ探してみてください。植物の生命力の強さ、生きるすべの不思議さに触れることが出来る事でしょう。花の季節では感じ取ることのできない、自然の巧みさを見つけてみましょう。

今年もたくさんの方に来園いただいたことに、心より感謝申し上げます。12月から3月末まで四か月間の休園となります。来春、セツブンソウやザゼンソウが咲く頃のオープンを楽しみにお待ちください。

**冬期休園：12/1（日）～ 令和2年 3/31（火）**

## 11月後半の予定

### ◆【第26回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展】

- 日 時 11/1(金)～11/24(日) 9:00～16:30  
○場 所 自然学習センター ○費 用 入園料300円のみ(高校生以下無料)

### ◆【ガーデニング教室】

- 日 時 11/24(日) 10:00～12:00 \*10/27(日)から日程変更  
○講 師 (有)花のひこうき代表取締役 戒野日出男 氏  
○場 所 自然学習センター  
○内 容 春まで咲き続けるビオラを使ったハンギングバスケット作り  
○対 象 先着15人 ○参加費 入園料及び材料代込3,500円(高校生以下3,200円)  
○持ち物 防寒具、エプロン、手を拭くタオル  
○申込み 電話で野草園まで、TEL023-634-4120

### ◆【ガイドウォーキング】

- 日 時 11/17(日)、23(土・祝)、24(日)  
1回目10:00～11:00 2回目11:00～12:00 3回目13:00～14:00 4回目14:00～15:00  
○場 所 野草園内全域  
○内 容 野草園職員と一緒に園内を散策し園内の植物等について案内  
申し込み不要。参加費無料(入園料のみ)

## 春の開園日までの予定

### ◆【四季観察会 ④】 2/12(水) 10:00～12:00 —樹木と冬芽— 講師:志鎌節郎氏・佐竹恵一氏

### ◆【四季観察会 ⑤】 3/12(木) 10:00～12:00 —早春の植物— 講師:志鎌節郎氏・佐竹恵一氏

### ◆【そり滑り】

- 日 時 2/17(月)～21(金) 10:00～12:00 保育園、幼稚園の団体のみ

### ◆【プレオープン】

正式な開園に先駆け 3/28(土)、29(日) 9:00～16:30

早春に咲き始める植物の様子を見にいらしてください。

#### ※プレオープン中のガイドウォーキング

正式開園後のガイドウォーキングは、毎週日曜日に設定していますが、プレオープン期間の2日間も行います。

- 時 間 ①10:00～11:00 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:00～15:00

雪解けの湿地や林下に咲く早春の花たちを見てください。

### ◆4月1日(水) 野草園の開園日…入園記念に、花の苗をプレゼントします(先着100名)。

## ●●● 11月後半に見られる花と樹木の果実と冬芽 ●●●



### マルバノキ(マンサク科)

山地の谷間などに生える落葉低木です。葉は互生し、卵円形または円形で基部は心形です。秋には美しく紅葉します。葉のわきのごく短い柄の先に、暗紅紫色の花を2個背中合わせに開きます。花弁は5枚あり、星形に平開します。マルバノキはその葉が丸いことに由来し、別名ベニマンサクはその花が赤色であることに基づいた名前です。



### サンシュユの果実(ミスギ科)

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が開く前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花」と言われますが、秋は赤く熟す果実から「秋珊瑚」の別名があります。果肉を乾燥したものを強壮、強精などの薬用に、果実は果実酒にします。



### ムラサキシキブの果実(クマツツラ科)

低い山地や野原に生える落葉の低木です。葉は対生し、楕円形で縁に鋸歯があります。葉の付け根から集散花序をだし、多数の淡紫色の小さな花をつけます。萼は短い鐘形で浅く5裂し、花冠は先が4裂します。今、球形で紫色に熟した果実を付けて、見る人の目を楽しませてくれます。落葉した後もたくさん残っています。



### 十十カマドの果実(バラ科)

山地の林縁などに生える落葉小高木で、夏に白い花を咲かせます。山形市のシンボルの木としても知られています。今は赤い果実がたくさんぶら下がっています。この果実は冬に葉が落ちても残ります。美味しくありませんが、冬になると餌が少なくなり鳥たちが食べるようです。



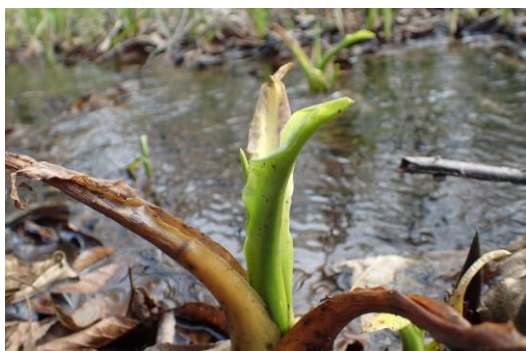
### ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

日本を含め、東アジア一帯に自生するつる性の落葉低木です。伸びた枝の先に黄緑色の花を集めて付けていました。今は、淡黄色に熟した果実がはじけ、3つに裂開し、その中から赤い仮種皮の種子が見えています。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



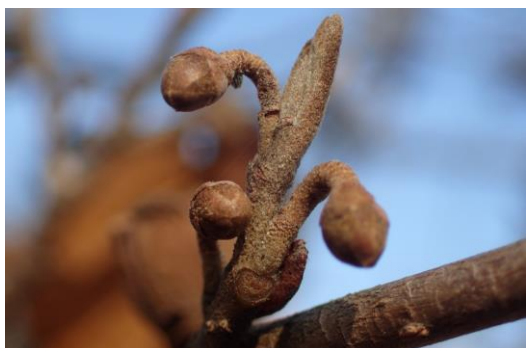
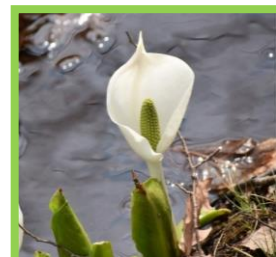
### ザゼンソウの冬芽 (サトイモ科)

今は、地面から暗褐色の冬芽を出しています。春になると冬芽から仏炎苞が成長してきます。花は紫褐色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた丸い花序です。



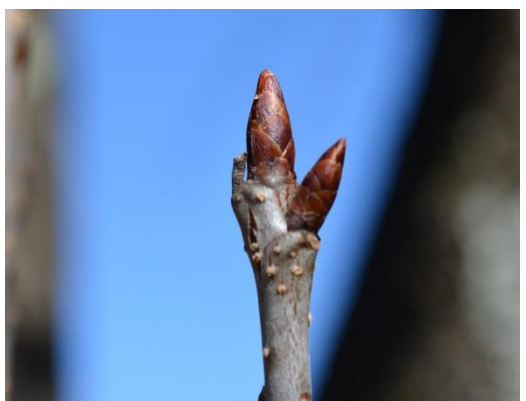
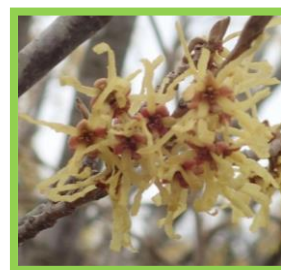
### ミスバショウの冬芽 (サトイモ科)

今は、水面に緑色の冬芽を出しています。これが春になると葉に成長し、その後仏炎苞を出します。花は、白色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた細長く黄緑色の花序です。



### マルバマンサクの冬芽(マンサク科)

丸い部分が花芽、尖っているところが葉芽です。春に先駆けて「まず咲く」のでマンサクといわれていますが、2月頃には花芽が黄色くなり始め、春の訪れを知らせてくれます。



### オオヤマザクラの冬芽 (バラ科)

野草園のシンボルのサクラです。今は枝先に、寒さを防ぐために茶色の芽鱗で覆われた冬芽をつけています。茶色の芽鱗にはソメイヨシノのように短毛がなくスベスベしています。



### ソメイヨシノの冬芽 (バラ科)

エドヒガンとオオシマザクラを交配してつくられたサクラで、公園や街路に最も多く見られます。冬芽は芽鱗が8枚程度で毛が密生しています。冬芽の花芽の方が葉芽よりぷっくりしています。

